

さぬき市教育事務点検評価委員会（第2回） 会議要旨

- 1 日 時 令和6年8月21日（水） 9：30～10：12
- 2 場 所 さぬき市寒川第2庁舎203会議室
- 3 出席者 【委員】渡邊千栄美 多田照代
 【事務局】和田教育長 佐藤教育部長 細川教育総務課長
 高西学校教育課長 大生生涯学習課長
 酒井幼保こども園課長 川田人権推進課課長補佐
 多田教育総務課課長補佐
- 4 欠席者 1名 【委員】三井重彰
- 5 傍聴者 1名
- 6 議 題 (1) 教育委員会の事務の点検及び評価報告（原案）及び委員の意見等
 について
 (2) その他
- 7 会議の内容

発言者	意見概要
教育部長	<p>それでは、ただ今から第2回さぬき市教育事務点検評価委員会を開会します。なお、本会議については、「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」により原則として公開となっております。また、公開の方法については、会議の傍聴を認めることにより行うこととしておりますが、本日、1名の方から傍聴の申請があり、許可しておりますので、報告させていただきます。</p> <p>それでは、はじめに教育長から御挨拶申し上げます。</p>
教育長	<p>（教育長挨拶）</p>
教育部長	<p>前回の会議でいただいた御意見等を基に、素案を修正して原案としております。まず、修正箇所について、一括して教育総務課長から御説明します。</p>
教育総務課長	<p>（前回以後に記述を修正した箇所について、資料に基づき説明した。）</p>
教育部長	<p>ただ今の説明について、御質問や御意見等はありませんか。</p> <p>無いようでしたら、委員の皆さんからいただいた意見の中に、回答すべき内容がありますので、先にお答えさせていただきます。それでは、少人数授業について、英検の受験率が低下している中、受験しやすい環境にするための検討事項等について、学校教育課長から回答さ</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>せていただきます。</p> <p>少人数授業については、児童生徒数の減少に伴い、教職員数も減少しており、実施することが難しい状況となっています。代わりに、昼休みや放課後等の時間に行う個別指導やT2として授業に入り、理解が不十分な児童生徒への個別対応を行うなど、下位層の底上げにつながる取組を行っています。</p> <p>次に、英検受験率を上げるために取り組んでいることの一つとして、今年度、香川県教育委員会が県内全ての市町立中学校の全学年と、希望する自治体の公立小学校の第6学年を対象として、年1回の外部検定試験を実施しており、さぬき市では、児童が自身の学習到達度を把握することを目的とし、本事業を希望しました。小学校においては、「読むこと」「聞くこと」の2つの技能を測定するもので、小学校卒業段階において、児童が「英語でどのようなことができるようになったのか」を理解するための簡易的なテストです。実施時間は、約30分です。</p> <p>市内の小学6年生は、1月に実施予定で、資格として認定されるものではありませんが、実施から約1カ月後を目安に、個人スコアレポートが返却される予定で、学年及び学級全体の結果等を公表することはしませんが、各校のスコアは市の教育委員会に提出していただき、分析する予定としています。テスト形式ですが、あくまで児童が「自らの学びの振り返りを異なる視点から確認するもの」という位置付けです。</p> <p>中学校は、生徒の英語力を客観的に測定するために開発された簡易版テストで、結果から英検の級レベル等が判定されます。時間は、45分程度です。</p> <p>資格として認定されるものではありませんが、生徒一人一人が自身の英語力を把握し、学習方法を見直すための有効な指標となるとともに、教師のよりよい授業づくりの一助となることが期待されます。3年生は、6月に実施済みで、1、2年生は10月に実施予定です。今後、市教育委員会におけるスコアの分析をもとに、今回の事業を生かす形で、各中学校への受験促進を呼びかけます。</p> <p>また、受験機会を確保するため、英検受験の案内の周知回数を増やしたり、周知方法を工夫するなど、一層の周知に努めたいと考えています。</p>
<p>教育部長</p>	<p>次に、委員の皆様から事前に書面で御提出をいただいた点検及び評価報告に対する御意見を、教育方針等項目ごとにまとめていますので、これに関して、何か補足説明あるいは更に御意見等があればお願いいたします。</p>

委員	<p>剣淵小学校との交流事業に参加した児童から満足度について、アンケートを行っていますが、アンケートの回収率はどのくらいですか。</p>
教育総務課長	<p>全児童からアンケートを回収していますので、100パーセントです。</p>
委員	<p>満足度は、97パーセントとありますが、「よくなかった」という意見の児童も数パーセントいるようなので、そういった児童に「どのようにすれば、よかったか」というような意見も聞いて、今後の交流に役立ててほしいと思います。</p> <p>部活動の地域移行の件についてです。お隣の東かがわ市では、すでに合同部活動に積極的に取り組んでいるようですし、県内の他市でも、早くから地域移行に取り組んでいる自治体がありますが、さぬき市では、今後どのように取り組んでいきますか。</p>
学校教育課長	<p>部活動地域移行推進協議会において、さぬき市の方向性を決定していく予定です。令和6年度は、柔道部、剣道部、男子バレーボール部の合同部活動を実施し、課題等を検証していくこととしています。</p>
委員	<p>就学前施設の老朽化や少子化に伴う園児の減少を受けて、施設全体の今後の在り方について検討を行う上で、私立の就学前施設に聞き取りを行うとありますが、今後のスケジュールはどうなっていますか。</p>
幼保こども園課長	<p>私立の施設は、全部で8施設ありますが、すでに聞き取り調査は、終わりました。これからの施設の在り方について、計画を策定する必要がありますが、現在、内部で検討しています。今後は、子ども・子育て会議において意見をいただき、計画を策定していきたいと考えています。</p>
委員	<p>色々と意見を書かせていただきましたが、来年度以降の教育施策にできるだけ、意見を反映させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>教職についていたころ、香川県が広島県と並んで、教育県と言われた時代ですが、学力の二極化を防ごうと、少人数での分かる授業に力を注いでいました。</p> <p>現在は、子どもが減少し、教員も不足しているので、少人数授業の実施が難しいことは、やむを得ないのかもしれませんが、代替として、休み時間や放課後の個別指導ということですが、実態としては、ほとんどの子どもが放課後児童クラブへ行くので、難しいのではないかと思います。</p>

委員	<p>学力の高い子どもは、塾へ行ったり、家庭で教わったりしている子どもが多いと思いますので問題ありませんが、下位層の子ども達への働きかけが必要です。学力低下や学力の二極化に歯止めがかかってほしいところですが、難しいのでしょうか。</p> <p>タブレットを使った学習についてです。一人1台になっているのに、上手く活用ができていない状況のように思います。都会では、タブレットの活用が進んでいます。国は、すべての児童にタブレットが届くよう、GIGAスクール構想を進めてきましたので、田舎だからできないということはありません。都会との格差が広がらないよう対応していただきたいと思います。</p> <p>就学前教育の在り方が見えてきません。一部新しい施設もありますが、ほとんどの施設は老朽化しています。</p> <p>志度幼稚園が開園した時の園児数を思うと、今の園児数には、驚きです。園庭開放等を実施し、園児募集に力を入れていますが、私立の施設に吸収されているようで、公教育に危機感を覚えます。公立の保育所と幼稚園がそれぞれの地域にあるので、こども園として新たにスタートすることも検討していただきたいと考えます。</p> <p>子育て世代から魅力を感じる自治体でないと、今後は生き残れません。子ども達の将来は、明るいものであってほしいと願います。子ども達は、宝です。子ども達のために教育を進めて行ってほしいと思います。</p> <p>最後になりますが、コロナが人間社会に及ぼした影は、とても大きいです。人間の意欲の低下にまで影響しています。そんな中、教育現場には、たくさんの課題が突き付けられ、それらに対応するのに、たくさんの労力を使い、努力をされてきたことを感じます。そういった経験をもとに、力強い教育を推し進めて行ってほしいと思います。</p> <p>オリンピックで金メダルに輝いたレスリングの日下選手ですが、運動神経に特に恵まれている子ではなかったようで、平凡な子が努力をして世界的なメダリストになったということです。前回のオリンピックでも高松北高校出身の宇山選手が、フェンシングで金メダルをとりました。身近なところで、素晴らしい選手が生まれています。そういった中、部活動の地域移行ですが、地域には、素晴らしい指導者もいますので、上手く行けば、オリンピック選手を生み出すことができるかもしれません。先には明るい話題が出てくるかもしれません。まだ、始まったばかりですが、教員の長時間労働の解消ということで、働き方改革の一環でもあるようですが、地道に進め、将来に見通しが立つよう協議検討をしていただきたいと考えます。</p> <p>奨学金制度についてですが、貸与の制度について、色々と検討なさっているようですが、貸与額についても県内他市の状況を確認しながら</p>
----	---

<p>教育部長</p>	<p>ら、検討していただきたいと思います。</p> <p>奨学金制度については、市によって一長一短あります。例えば、さぬき市は他の奨学金制度と併用できますが、東かがわ市はできないので、一概に貸与額だけを検討するというのも難しい状況です。</p>
<p>委員</p>	<p>市内に定住すれば、自治体が、奨学金の返還金の補助をするというような制度が他市にあります。さぬき市はそういった制度は、ないんでしょうか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>残念ながら、さぬき市にはありません。さぬき市も定住促進のための奨学金返還金の補助等について、協議検討したことはありますが、現段階においては、効果は得られにくいと判断しているところです。</p>
<p>教育部長</p>	<p>他に、何かありませんか。</p> <p>本日、委員の方々から提出されました意見については、できる限り、教育施策に反映していきたいと考えております。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日ご審議いただきました、この原案については、27日に開催予定の教育委員会第5回定例会に正式に議案として提出し、教育委員会で議決を得られれば、正式な報告書として市議会に報告するとともに、ホームページ等で公表したいと考えています。</p> <p>以上をもって、本日の会議を閉会します。ありがとうございました。</p>